



期待と不安を抱いて — 保育所や小・中学校で入園・入学式 —



日高中学校

4月初旬に町内の保育所や小中学校で入園・入学式が執り行われ、新入生らが期待と不安を胸に、式に臨みました。

内原保育所(田村真由美所長)では、お父さんやお母さんに手を引かれ新入園児が入場。田村所長から「ご入園おめでとうございます。明日から一緒にたくさん遊びましょう」と歓迎の言葉が贈られると、在園児全員で歌を歌い、新入園児をお祝いしました。

内原小学校(山口謙校長)では、ぴかぴかの制服に身を包んだ1年生46人が新しく入学。山口校長は「いつも笑顔で元気よく、挨拶をきちんとしていきましょう」とお祝いの言葉を贈り、新入生のみんなは在校生と共に大きな声で挨拶をしました。

日高中学校(釈野靖仁校長)では、新入生が緊張した面持ちで入場。釈野校長が「教職員一同でしっかりサポートしますので、自分の力を伸ばしていきましょう」と、中学生活へのエールを送りました。



内原小学校



内原保育所

自転車に乗る前はしっかり点検 －比井小・志賀小で交通安全教室－



4月24日(月)と4月27日(木)に、比井小学校(玉置雅巳校長)と志賀小学校(保田勉校長)でそれぞれ交通安全教室が開かれ、両校児童ら合わせて207人が自転車の点検方法や乗り方について学びました。

この教室は、御坊警察署員、日高町交通指導員の協力のもと開かれたもの。教室ではグラウンドに描いたコースを使って道路の通行や横断を練習しました。

コースには横断歩道や踏切を設け、交差点には信号機を設置。自転車の乗り方を練習した生徒たちは飛び出しを絶対にしないなどのルールを学びました。また、体育館でビデオ鑑賞も実施し、交通安全への理解を深めました。



比井小学校

最後に指導してくれた警察官や指導員から、「自分の通る道は自分で安全確認することが大切です。周りの人を悲しませないために、自分の大切な命を守ってください」と総括されると、比井小学校では、児童代表の細田咲月さんが「これからはしっかり点検して、気を付けて自転車の乗ります」と指導してくれた警察官や指導員にお礼を述べました。

児童達は「飛び出しに気を付けようと思います」と、車の怖さや確認の大切さをしっかりと学んだ様子でした。



志賀小学校

